

信州大学理学部理学科 地球学コース

総合型選抜のご案内

願書受付：令和4年 9月 1日(木) ～ 9月 7日(水)

実地試験日：令和4年 10月 22日(土)

求めています！

「地球を知りたい」「地球環境を考えたい」 意欲にあふれた人

総合型選抜はそういう人達を求める入試です。

試験内容

野外観察（室内実験の場合あり）	講義受講	面談
<ol style="list-style-type: none">1. 野外に出て地層や岩石を見学して、各自工夫して調べたり、メモをとったり資料を持ち帰ったりします。2. 大学に戻って、室内でメモや資料をもとにレポートを作ります。3. その内容にもとづいて、教員との面談で簡単な説明をしてもらいます。	40分程度の簡単な講義を聞いて、それについてレポートを提出してもらいます。	試験の感想や志望動機などを説明してもらいます。
評価の方針		
正しい解答を得られたか否か、を評価するのでは決してなく、そのプロセスでの着目点や創意工夫、積極性を点数化します。	講義の受講では、講義の内容を十分理解して文章化できているかどうか、を点数化します。	

なお、大学入学共通テストを受けてもらいます。その結果は「高等学校教育の修了資格試験」に類するものとして扱い、450点以上（900点満点）の取得を条件とします。



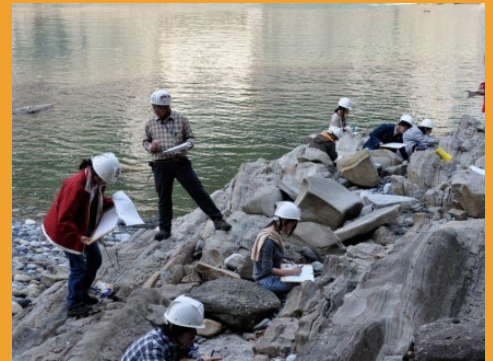
試験（野外観察）の実例



大学近傍で火山灰層(左下の写真)を観察しました。この後サンプルを採取して、室内で顕微鏡観察も行いました。



山沿いの道路に露出する砂岩泥岩の地層を観察しました。小さな断層、木の葉の化石、地層の傾斜などが見られました。



川沿いの露頭で、砂岩や泥岩の地層、地層の傾斜、地層の内部の模様などを観察しました。

地球学コース総合型選抜に関してよくある質問

★受験資格について

Q: 高校で「地学基礎」や「地学」を履修していません。

A: 高校で科学と人間生活などの科目や総合学習、課外活動などで地学に関わる学習をしていることが、調査書などにより確認できれば受験資格があります。

Q: 学校行事での〇〇山登山の際に、〇〇山の成り立ちを調べました。この課外活動を地学に関する学習として、受験資格にすることが出来ますか。

A: 高校の担任の先生か課外活動担当の先生から、学習内容を調査書か添付する書類に記入してもらって下さい。記入があれば受験資格はあります。

Q: 高校の時、クラブ活動で気象観測をしていました。このクラブ活動は受験資格になりますか。

A: 課外活動で地学に関する学習をしているので、受験資格はあります。調査書などで確認できるようにして下さい。

Q: 今年の春卒業しましたが、高校時代に地学に関する授業や課外活動はまったくありませんでした。予備校で地学を勉強すれば受験資格になりますか。

A: ありません。

Q: 高校で地学は勉強していませんが、国際地学オリンピックに出ました。受験資格になりますか。

A: あります。1次選考もしくは2次選考までの参加でも構いません。但し、地学オリンピック日本委員会が発行する成績証明書を添付して下さい。

Q: 町の博物館で恐竜博覧会を見たのですが、受験資格になりますか。

A: なりません。ただし、次の場合は受験資格になります。学校の課外活動で博物館に行って、学校の先生や博物館の学芸員の指導のもと、地学に関する展示の見学や化石採取をおこなった場合。この場合も、調査書等への記載が必要です。

★試験について

Q: 第一次選抜とはなんですか。

A: 第一次選抜は、受験者が定員の4倍を超えた場合に、野外での試験可能人数との関係で実施することがあります。これは、あくまでも公正な試験が安全に出来ることを考えてのことで、4倍を超えたからといって機械的に実施するものではありません。受験者が多く、どうしても1次選抜が必要になった場合は、高校の調査書、志望動機などに基づいて選考をおこないます。その場合、高校時代の地学の勉強に関する経験の多い少ないを参考にすることもあります。

Q: 総合型選抜の当日は、自分で調査道具を持参しなければいけないのですか？

A: 必要ありません。こちらで全て用意します。ただし、愛用の道具がある場合は持参してもらって構いません。

Q: 試験はどのように評価するのですか。

A: このリーフレットの表を参照して下さい。